

令和2年度

# 小・中学生フォーラム in 西新宿小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

7月13日（月）、西新宿小学校（西新宿4-35-5、校長：長井満敏）の6年1組26名、2組28名が、「新宿をよりよくしよう」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちは、班ごとに分かれて「バス停に屋根やベンチを設置する」「災害対策」「緑を増やす」「オンラインシステムを利用した授業」などについての提案を発表しました。児童同士で発表内容への質疑を交わしたあと、区長から提案に対するコメントをいただき、それに対してさらに児童たちから区長へ質問をするなど、活発に意見交換が行われました。区長からは、「ていねいな提案で、たくさんの意見をもらえて嬉しかった。質問も活発に出ていて、きちんと理解していないと質問はできないので、調べて考える学習が身につけているのだと思う」と話がありました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、席の距離をあけて座る、発言者が変わるたびにマイクを消毒するなど、例年のフォーラムとは違う雰囲気で行われました。区長からも「大変な1年になってしまっただが、先生や保護者と協力して頑張ってもらいたい。区や教育委員会も応援していきたい」と激励の言葉がありました。

児童たちは、同級生の発表に対する区長の答えを受けてさらに提案をするなど、勉強したことと実際の取り組みをつなげて考える良い機会になり、有意義なフォーラムとなりました。

